

(別表第1の3)

[認知症対応型共同生活介護用]

1. 評価結果概要表

作成日 平成 19 年 9 月 20 日

【評価実施概要】

事業所番号	3871200329		
法人名	社会福祉法人亀天会		
事業所名	グループホーム鶴翠		
所在地	愛媛県西条市大野284-2 (電話) 0898-66-0288		
管理者	大澤孝市		
評価機関名	愛媛県社会福祉協議会 利用者支援班		
所在地	愛媛県松山市持田町三丁目8-15		
訪問調査日	平成 19 年 7 月 24 日	評価確定日	平成 19 年 9 月 25 日

【情報提供票より】 (平成 19 年 6 月 25 日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 16 年 8 月 4 日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	14 人	常勤 人, 非常勤 人, 常勤換算 人	

(2) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	27,360 円	その他の経費(月額)	円
敷金	有()円 ○ 無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有()円 ○ 無	有りの場合 償却の有無	
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり	1,000 円	

(3) 利用者の概要 (平成 19 年 6 月 25 日事業所記入)

利用者人数	18 名	男性 5 名	女性 13 名
要介護 1	0 名	要介護 2	2 名
要介護 3	9 名	要介護 4	6 名
要介護 5	1 名	要支援 2	0 名
年齢	平均 87 歳	最低 75 歳	最高 98 歳

(4) 他に事業所として指定等を受けている事業及び加算

指定	あり	指定介護予防認知症対応型共同生活介護
指定	あり	指定認知症対応型通所介護
届出	なし	短期利用型共同生活介護
加算	あり	医療連携体制加算

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

広い敷地内にケアハウスと共に建てられたホームで、各種社会福祉施設の経営に関して経験のある母体法人のため、ホームに対しても協力支援体制がとられている。協力医療機関も加わり、定期健診と2週間ごとの訪問診療があり、利用者や家族にとって安心できる体制となっている。介護計画はきめ細かいアセスメントをもとに本人本位のプランとなっており、見直しも変化に応じその都度なされている。職員の研修は計画的に段階に応じてなされ、意欲のある職員には費用を援助し、積極的に職員を育て、ケアの質の向上に取り組んでいる。年間行事は季節ごとバラエティに富み、利用者の楽しみと張り合いになっている。日々の外出支援も継続して支援している。食事は栄養士の管理のもと、栄養摂取も十分にバランスよく、利用者の食生活を豊かにしている。

【質向上への取組状況】

▼ 前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況 (関連項目: 外部4)

評価の結果を職員会議で検討し、運営推進会議での家族や参加者の意見も取り入れ改善に努めている。なお、具体的で分かりやすい理念の作成と、鍵をかけた工夫についてを課題として、今後の取り組みを期待したい。

▼ 今回の自己評価に対する取り組み状況 (関連項目: 外部4)

評価の意義を理解したうえで職員全員で分担して取り組み、それをもち寄り意見交換し、運営者・管理者と共に課題を共有し、サービスの質の向上に努めている。

▼ 運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み (関連項目: 外部4, 5, 6)

市職員、町内会役員、民生委員を招き、家族全員に案内を出し、2か月毎に開催している。議題にホームの現状や方針の報告と評価結果を公表し、意見や要望を貰って職員会議で検討し改善に取り組んでいる。参加者層を地域婦人会、老人会、消防署などにも広げることと、参加家族が固定化しないような取り組みが期待される。

▼ 家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映 (関連項目: 外部7, 8)

意見箱を設置し、また文書で意見や苦情、要望を促している。利用者の暮らしぶりの報告時や運営推進会議の中で対応し、運営に反映している。

▼ 日常生活における地域との連携 (関連項目: 外部3)

自治会に入会し、祭りの獅子舞、歌やダンスのボランティアを受け入れ、草取りにも協力している。運営推進会議の中で、自治会からの災害時の一時避難場所とすることを要請があり、災害時の相互の協力と連携を図ることが期待される。

(別表第1の2)

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

I. 理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

V. サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

ーサービス向上への3ステップー
“愛媛県地域密着型サービス評価”

【記入方法】

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。
 - 各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに※を付け、適宜その内容を記入すること。
 - 「取組みの事実」は必ず記入すること。
- (注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

※用語について

- 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。
- チーム＝一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名

グループホーム鶴翠

(ユニット名)

1 階

記入者(管理者)

氏名

大澤 孝市

評価完了日

H19 年 6 月 25 日

(別表第1)

自己評価及び外部評価票

【セル内での改行は「Alt+Enter」です。】

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価) 開設3年目を向かえ地域密着型サービスとして今年度新しく作った。 (外部評価) これまでの理念を見直し、地域密着型サービスの役割をもち込んだ事業所独自の理念を作り上げている。内容は文章及び5つの箇条書きからなり、サービスのあり方を過不足なく表現しているが、覚えにくい。	※	日々の当たり前の暮らしを踏まえて文章にしたが、全職員の理解にはいたっていない。 理念の文言をふまえて、平易で端的な言葉に置き換えてみることを期待する。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価) 職員の意識統一の為、職員会や連絡会にて話をしている。 (外部評価) 管理者と職員は、ユニット会議、職員会議、また、カンファレンスにおいて意見交換を通して理念を共用し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。		
3		○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	(自己評価) 家族との情報交換や、運営推進会議により地域へ情報発信している。		
2. 地域との支えあい					
4		○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 入居者との散歩や買い物時に挨拶をしたり声を掛け合っている。		季節行事の交流は積極的に行なっているが、ホームの行事の参加が少ないので職員で参加の取り組みを考えていく。
5	3	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 自治会活動や行事に参加して交流している。 (外部評価) 自治会に入会し、祭りの獅子舞、歌やフラダンスなどのボランティアを受け入れたり、敷地内にある同法人のケアハウスの行事に参加するなど、地域の人々との交流を図っている。ホーム前の道路の草取り清掃を心がけて実施している。		

自己 評価	外部 評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6		○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 地域へ認知症の勉強会を開催したり、運営推進会議で意見交換している。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 見直しを行い改善に努めている。 <hr/> (外部評価) 自己評価を全職員で担当を決めて取り組み、職員会議に持ち寄り、課題を全員で共有し、外部評価の結果と共に評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。外部評価の結果を掲示板に掲示し、いつでも閲覧できるようにしている。		
8	5	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価) 入居者家族の意見を大切に、職員会にて報告してサービス向上に努めている。 <hr/> (外部評価) 家族全員に案内し、市職員、町内役員などを招き、2か月毎に定期的で開催している。ホームの現状や今後の方針について報告し話し合いを行い、評価の内容を公表し、出された意見を職員会議で検討し、サービスの向上に活かしている。	※	参加メンバーを地域婦人会、老人会、消防署などにも呼びかけていくことや、家族のメンバーの広がりにも工夫することを期待する。
9	6	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価) 市担当者との連絡、報告、相談の関係を築いている。 (不定期) <hr/> (外部評価) 市担当者と連絡を取り合い、現状の説明や相談をしたり、入居希望や利用状況の情報を得て「介護保険施設入所者報告書」をまとめ、運営やサービスの質の向上に取り組んでいる。		
10		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価) 研修の機会を設けている。(必要に応じアドバイスしている)		
11		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 勉強会に参加して意識を高めている。日常業務についても注意を払っている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
12		○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 十分な話し合いを行なっている。解約時にはその後の対応も視野にいれている。		
13		○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 面会時に居室や相談室にて意見を聞かせていただく。		
14	7	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価) 日常生活報告書の定期発行や状況に応じて電話連絡している。 (外部評価) 「日常報告書」や行事の写真掲載のホーム便りなどで定期的に報告し、必要に応じて電話でも報告している。金銭出納簿は収支のコピーと領収書を郵送している。管理者が責任を持って管理しているものの、家族の確認印がない。	※	金銭出納簿のコピーを郵送しており、原簿に家族の確認印が貰えていないので、トラブル防止のためにも工夫することが望まれる。
15	8	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 意見箱を設けている。面会時など、意見を聞ける体制にある。 (外部評価) 意見箱を設けて対応し、また、文面を添えて意見や要望を申し出ることを促し、処理簿に記録して運営に反映させている。		
16		○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 職員会、ミーティングにて意見交換している。		
17		○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 入居者の変化に応じた体制を確保できるよう努めている。		

自己 評価	外部 評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
18	9	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 離職や異動には配慮している。		
			(外部評価) 1年余り異動や離職がない。職員から相談がある場合はよく話し合っって異動等を検討している。		
5. 人材の育成と支援					
19	10	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 個別の能力を考慮して研修している。		
			(外部評価) 管理者と職員はグループホーム連絡協議会主催の研修に段階に応じて参加し、全員参加の職員会議で報告し、学習の機会としている。また、職員希望の研修には費用を負担し、法人内外の研修を受ける機会を積極的に確保している。		
20	11	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価) 勉強会や相互訪問にて交流の機会を設けている。		
			(外部評価) グループホーム連絡協議会に入会し、近隣他市の同業者とリーダー相互研修や近隣の同業者との交流を毎年行い、サービスの質の向上に努めている。		
21		○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価) 親睦会や施設交流を設けて環境づくりをしている。		
22		○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価) 実績評価して意欲的な声かけをしている。		

自己 評価	外部 評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていることを本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 事前面談して生活状況を把握し本人が望んでいることを聞き取る。		
24		○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 意見や要望を聞いている。		
25		○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 状況判断している。		
26	12	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 本人と家族同伴で施設を見ていただき馴染めるよう努めている。 (外部評価) 本人・家族にホームを見学してもらい、雰囲気に慣れることから始めている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 同じ立場に立って一緒に過ごす関係作りをしている。 (外部評価) 食事やおやつのとき、散歩や買い物時など、得意なことやこれまでの経験を聞く中で、人生の先輩として学んだり支えあう関係を築いている。		
28		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 行事に参加したり、面会時に細かく報告している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
29		○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 日常生活報告書にて関係づくりをしている。		
30		○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 継続的な交流をもっている。		
31		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 入居者どうしのかかわりを大切にし孤立しないよう努めている。		
32		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 可能な限り情報提供している。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
33	14	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 声かけする中で思いを確認している。 (外部評価) 日々のかかわりの中で一人ひとりの思いや意向の把握に努め、職員会議で情報交換し、職員全員で共有して把握に努めている。困難な場合は「暮らしの状況表」をもとに本人本位に検討している。		
34		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 生活暦を家族よりききとり生活に生かしている。		
35		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価) 日々の記録により把握している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価) カンファレンスを行い介護計画に反映する。 (外部評価) 本人、家族と話し合い、アセスメントを作成し、介護計画に反映している。アセスメントを含め、日々の関わりの中でのアイデアや気づきを職員全員で意見交換し、カンファレンスを行い、介護計画に反映している。		
37	16	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価) 変化が生じたときは見直しをして家族に報告している。 (外部評価) 本人や家族の意向を確認し、毎月見直しを行っている。また、変化に応じその都度見直し、現状に即した計画を作成している。		
38		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価) 日々の記録や申し送りにて情報の共有をしている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価) 要望や状況に応じて支援している。 (外部評価) かかりつけ医以外の受診の同行、告別式の代理参列、法人内の他サービスの利用申込など、本人の要望に応じ柔軟な支援をしている。		

自己 評価	外部 評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 地域の行事や図書館などを利用している。		
41		○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 他のサービス利用はしていない。		
42		○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 実施していない。		
43	18	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 協力医療機関があるが家族の要望に応じて適切な医療を受けている。 (外部評価) 本人及び家族の希望を大切にし、5か所のかかりつけ医の受診に同行し、本人の状態を聞き関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。		
44		○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 専門医の受診体制はある。		
45		○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 看護師が職員として配置されている。日常の健康管理ができています。		
46		○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 病院や家族との情報交換を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
47	19	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 重度化した時の対応は家族と話をしている。終末期は現状受け入れていない。 (外部評価) 重度化や終末期のあり方については入居時に説明をしている。また、職員はマニュアルをもとにケアのあり方を学び、全員で方針を共有している。		
48		○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 重度化した場合主治医との連絡体制をとっている。		
49		○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 関係者との情報交換を密にしている。		
<p>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p> <p>1. その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1)一人ひとりの尊重</p>					
50	20	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	(自己評価) 一人ひとりに合った声かけや会話をしている。個人情報情報は慎重に取り扱っている。 (外部評価) 職員は採用時にプライバシー遵守の誓約書を提出している。県社協主催の研修会や職員会議においてその大切さを確認し、利用者に対してプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。		
51		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価) 話題づくりを行い思いや考えを自ら話せるよう心がけている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
52	21	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 個人の個性にあわせ支援している。 (外部評価) 買い物や入浴など一人ひとりのペースを大切に、体調に合わせて、希望に沿うよう支援している。		
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 家族や施設が支援している。		
54	22	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 季節の旬の食材での料理や利用者のできることをしていただいている。 (外部評価) 季節の野菜を色どりよく取り合わせた献立となっている。利用者は自由に食卓を囲み、職員も共に食事し、下膳やテーブル拭きも共に行い、食事を楽しんでいる。		
55		○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 手作りのおやつや飲み物は好みを準備している。		
56		○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 個々の排泄パターンを把握したり、定期的な誘導を実施している。		
57	23	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価) 体調に配慮して一人ひとりゆっくり楽しんでいる。 (外部評価) 毎日午後の入浴を基本に、一人ひとりの体調や希望に合わせて、声かけをしながら入浴を勧め、また浴室の入口に温泉マークをプリントした大きな暖簾を掛け、雰囲気工夫し、入浴を楽しめるよう支援している。		

自己 評価	外部 評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
58		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価) 利用者個々の状況にあわせている。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価) 出来る事を取り組んでいる。 (外部評価) 年間行事を季節ごとに計画し、桜、バラや菖蒲の花見、ひな祭り、七夕、地域の運動会など、利用者の楽しみと気晴らしになるよう支援をしている。市外島しょ部のホームとの交流も楽しみとなっている。		
60		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 自己管理できる方は買い物にて楽しんでいる。		
61	25	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価) 散歩にでかけたりドライブの楽しみを支援している。 (外部評価) 近所の神社へのお参りは毎日、買い物は2日に1度、その他美容室に出かけるなど、希望に添って日常的な外出の支援をしている。		
62		○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価) 船に乗る機会を設けたり、高速道路を使ってのお出かけがある。		
63		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 年賀状や暑中見舞いを家族に利用者が書いて出している。		


自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
64		○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価) ゆっくりとお話できるようフロアの配置も考えている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
65		○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 研修や勉強会に参加し、身体拘束のないケアを実践している。		
66	26	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 玄関に関しては、交通量の多い道路に面してるため、制限をしている。 (外部評価) 各居室の掃き出し口が交通量の多い道路側にあり、外扉はあるが容易に道路に出られるので、利用者の安全のためロックをしている。	※	建物の構造上、安全確保が難しい状況ではあるが、鍵をかけることが当たり前ではないこと、鍵をかけることの弊害を認識し、課題として取り組む姿勢が望まれる。
67		○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 日中は、フロアにて声かけの出きる状態にある。		
68		○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 安全確認をしている。		
69		○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) 一人、ひとりの状態の把握に努め、再発防止ケアの改善に取り組んでいる。		
70		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 消防署の指導の下、講習を受けている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
71	27	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 地域の方々の協力を得られるよう働きかけている。 (外部評価) 毎年消防署の指導のもと避難訓練を行い、消火器の使用も模擬防火訓練で実施している。防災ネットワークとして町内の連絡網があり、災害時に地域の人々の協力が得られる体制ができています。しかし、近隣の住民に協力を呼びかけての避難訓練は実施していない。	※	地域の人々に呼びかけ、夜間の想定も含めて実際に避難訓練を実施し、災害に備えることが求められる。
72		○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	(自己評価) ケアプランの説明時に、リスクについて説明対応策を話し合っている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 状態変化や異常が見られるときは、主治医と相談している。		
74		○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 薬の管理は看護師が行い、個別の服薬表にて職員が理解している。		
75		○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 排泄チェックパターンを把握し、自立に向けて支援している。		
76		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 毎食後、一人一人の口腔ケアを実施している。		
77	28	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 栄養士の下、食事および水分量を把握し個別対応している。 (外部評価) 「暮らしの状況表」で一人ひとりの食事の状態や水分摂取量をチェックし、栄養士の管理のもと、栄養バランスとともにカロリーと水分確保の支援をしている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
78		○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取組みがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	(自己評価) マニュアルを作成し、手洗い、うがいなどを徹底している。		
79		○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	(自己評価) 食材の管理や調理用具の消毒をしている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
80		○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	(自己評価) 玄関にはスロープがあり、車椅子でも出入りしやすい状況にある。		
81	29	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 開放的で明るく、創作品などが飾られておちつける雰囲気である。 (外部評価) 1, 2階を通してガラス張りの壁面から太陽光が入り、明るい。一体化した食堂と台所は調理の様子もうかがえる。広々とした居間にはソファやいすをいくつか置き、自由にくつろげる。浴室は広く伸び伸びと入浴できる。居間や廊下には利用者の作品を飾っているが、掲示板に職員用の標語も貼られている。	※	職員の勤務に対しての標語や目標の掲示場所については今一度検討し、工夫することを期待する。
82		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) フロア内には、椅子やソファを準備し、自由な生活スタイルを整えている。		
83	30	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 家族の写真などをおいて、安心して過ごせる場所となっている。 (外部評価) 明るく清潔な居室で、家族の写真やカレンダー・仏壇等も置かれているが、ベッドと備品の小ダンスだけの居室も多く、使い慣れたものや好みのものが少なく感じる居室もある。	※	本人や家族と相談して、これまで使っていたものや好みの色、物などを活かして、本人が更に居心地よく過ごせるような工夫を望む。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
84		○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価) 換気は適宜行い、温度計にて調整している。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) 段差がなく、手すりがあり安全に生活できるようになっている。		
86		○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価) トイレや風呂場などには、わかりやすく表示している。		
87		○建物の外周リや空間の活用 建物の外周リやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価) 花や野菜を育てて、収穫を楽しまれている。		

(注)

- 1  部分は自己評価と外部評価の共通評価項目。
- 2 全ての自己評価又は外部評価の項目に関し、具体的に記入すること。

V. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己 ①ほぼ全ての利用者の 評価) ②利用者の2/3くらいの 3利用者の1/3くらいの 4ほとんど掴んでいない	個々の生活暦を把握し、コミュニケーションで利用者の意向をつかむ。
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己 ①毎日ある 評価) ②数日に1回程度ある 3たまにある 4ほとんどない	食事やおやつの際は、一緒に楽しく過ごすようにしている。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己 ①ほぼ全ての利用者が 評価) ②利用者の2/3くらいが 3利用者の1/3くらいが 4ほとんどいない	一人一人の希望を取り入れ個々のペースで暮らしている。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (自己 ①ほぼ全ての利用者が 評価) ②利用者の2/3くらいが 3利用者の1/3くらいが 4ほとんどいない	レクリエーションなどで他者との会話も増え、積極的な姿が見られる。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己 ①ほぼ全ての利用者が 評価) ②利用者の2/3くらいが 3利用者の1/3くらいが 4ほとんどいない	希望があれば出かけるように、支援している。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (自己 ①ほぼ全ての利用者が 評価) ②利用者の2/3くらいが 3利用者の1/3くらいが 4ほとんどいない	看護師の配置により昼夜を問わず、電話連絡できる体制にある。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (自己 ①ほぼ全ての利用者が 評価) ②利用者の2/3くらいが 3利用者の1/3くらいが 4ほとんどいない	その時々状況を把握し、最大限の支援をしている。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (自己 ①ほぼ全ての家族と 評価) ②家族の2/3くらいと 3家族の1/3くらいと 4ほとんどできていない	情報交換を行い、信頼関係を築いている。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己 ①ほぼ毎日のように 評価) ②数日に1回程度 ③たまに 4ほとんどない	家族、友人の面会が多いが、地域の方の訪問が少ない。

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	1 大いに増えている (自己 ②しずつ増えている 評価) 3あまり増えていない 4全くいない	運営推進会議に参加している、自治会長を通じて地域の方々との関係づくりに努力している。
98	職員は、活き活きと働いている	①ほぼ全ての職員が (自己 2職員の2/3くらいが 評価) 3職員の1/3くらいが 4ほとんどいない	いつも笑顔を絶やさず、心にゆとりのある介護をしている。
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	1 ほぼ全ての利用者が (自己 ②利用者の2/3くらいが 評価) 3利用者の1/3くらいが 4ほとんどいない	利用者の要望は、職員にすぐ伝えられ解決する努力をしている。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	1 ほぼ全ての家族等が (自己 ②家族等の2/3くらいが 評価) 3家族等の1/3くらいが 4ほとんどできていない	生活暦を生かした日常生活を送れることに安心している。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

職員のレベルアップ (知識・技能・当たり前のことが当たり前に見える体制作り)

(別表第1の2)

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

I.理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

III.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

IV.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

V. サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

ーサービス向上への3ステップー
“愛媛県地域密着型サービス評価”

【記入方法】

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。
 - 各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに※を付け、適宜その内容を記入すること。
 - 「取組みの事実」は必ず記入すること。
- (注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

※用語について

- 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。
- チーム＝一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名

グループホーム亀翠

(ユニット名)

2階

記入者(管理者)

氏名

大澤 孝市

評価完了日

平成19年 6月 25日

(別表第1)

自己評価及び外部評価票

【セル内での改行は「Alt+Enter」です。】

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価) 開設3年目を向かえ地域密着型サービスとして、今年度新しく作った。 (外部評価) これまでの理念を見直し、地域密着型サービスの役割をもち込んだ事業所独自の理念を作り上げている。内容は文章及び5つの箇条書きからなり、サービスのあり方を過不足なく表現しているが、覚えにくい。	※	日々の当たり前の暮らしを踏まえて文章にしているが、全職員の理解するにはいたっていない。 理念の文言をふまえて、平易で端的な言葉に置き換えてみることを期待する。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価) 理念に基づき、家庭的な環境に近づけるよう職員一同努力している。 (外部評価) 管理者と職員は、ユニット会議、職員会議、また、カンファレンスにおいて意見交換を通して理念を共用し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。		
3		○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価) 運営推進会議を開き地域の方々や家族の方々と意見交換している。		
2. 地域との支えあい					
4		○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 散歩など出かけたときは、声を掛け合っている。		季節行事での交流はしているが、それ以外は少ないので施設行事に参加していただくように声をかけていく。
5	3	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 自治会活動や地域の行事に参加し交流している。 (外部評価) 自治会に入会し、祭りの獅子舞、歌やフラダンスなどのボランティアを受け入れたり、敷地内にある同法人のケアハウスの行事に参加するなど、地域の人々との交流を図っている。ホーム前の道路の草取り清掃を心がけて実施している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6		○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 認知症の勉強会を開催したり、運営推進会議で意見交換している。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 評価の回をかさねるごとに理解が深まっている。 (外部評価) 自己評価を全職員で担当を決めて取り組み、職員会議に持ち寄り、課題を全員で共有し、外部評価の結果と共に評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。外部評価の結果を掲示板に掲示し、いつでも閲覧できるようにしている。		
8	5	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価) 職員会にて報告しサービスの向上に努めている。 (外部評価) 家族全員に案内し、市職員、町内役員などを招き、2か月毎に定期的に開催している。ホームの現状や今後の方針について報告し話し合いを行い、評価の内容を公表し、出された意見を職員会議で検討し、サービスの向上に活かしている。	※	参加メンバーを地域婦人会、老人会、消防署などにも呼びかけていくことや、家族のメンバーの広がりにも工夫することを期待する。
9	6	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価) 市担当者者との連携、報告、相談の関係をきづいている。 (外部評価) 市担当者と連絡を取り合い、現状の説明や相談をしたり、入居希望や利用状況の情報を得て「介護保険施設入所者報告書」をまとめ、運営やサービスの質の向上に取り組んでいる。		
10		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価) 研修の機会を設けて勉強している。		
11		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 勉強会に参加して意識を高めている。		

自己 評価	外部 評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
12		○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 十分な話し合いを行っている。解約時にはその後の対応も視野に入れている。		
13		○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 面会時に居室や相談室にて、意見を聞かせていただく。		
14	7	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価) 状況に応じて、電話連絡し報告している。 (外部評価) 「日常報告書」や行事の写真掲載のホーム便りなどで定期的に報告し、必要に応じて電話でも報告している。金銭出納簿は収支のコピーと領収書を郵送している。管理者が責任を持って管理しているものの、家族の確認印がない。	※	金銭出納簿のコピーを郵送しており、原簿に家族の確認印が貰えていないので、トラブル防止のためにも工夫することが望まれる。
15	8	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 意見箱を設け、面会時など意見を聞ける体制にある。 (外部評価) 意見箱を設けて対応し、また、文面を添えて意見や要望を申し出ることを促し、処理簿に記録して運営に反映させている。		
16		○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 職員会、ミーティングにて意見交換を行っている。		
17		○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 入居者の変化に応じた環境を確保できるよう努めている。		

自己 評価	外部 評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
18	9	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 離職や異動には配慮している。		
			(外部評価) 1年余り異動や離職がない。職員から相談がある場合はよく話し合っって異動等を検討している。		
5. 人材の育成と支援					
19	10	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 個別の能力を考慮して研修している。		
			(外部評価) 管理者と職員はグループホーム連絡協議会主催の研修に段階に応じて参加し、全員参加の職員会議で報告し、学習の機会としている。また、職員希望の研修には費用を負担し、法人内外の研修を受ける機会を積極的に確保している。		
20	11	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価) 勉強会や相互訪問にて交流の機会を設けている。		
			(外部評価) グループホーム連絡協議会に入会し、近隣他市の同業者とリーダー相互研修や近隣の同業者との交流を毎年行い、サービスの質の向上に努めている。		
21		○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価) 親睦会や施設交流を設けて環境作りをしている。		
22		○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価) 意欲向上を育てるような取り組みを職員個々に行っている。		

自己 評価	外部 評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていることを本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 事前面談して生活状態を把握し本人が望んでいることを聞き取る。		
24		○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 意見や要望を聞いている。		
25		○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 状況、状態を把握し他の施設利用を考えることもある。		
26	12	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 本人と家族同伴で施設を見ていただき馴染めるように努めている。 (外部評価) 本人・家族にホームを見学してもらい、雰囲気慣れることから始めている。		
27	13	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 昔ながらの知恵をもらったりして一緒に過ごす関係作りをしている。 (外部評価) 食事やおやつするとき、散歩や買い物時など、得意なことやこれまでの経験を聞く中で、人生の先輩として学んだり支えあう関係を築いている。		
28		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 行事に参加したり面会時にようすを細かく報告し、協力関係をきづいている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
29		○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 日常生活報告書にて、よりよい関係をきづいている。		
30		○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 継続的な交流を持っている。		
31		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) レクリエーションを通じて他者とのかかわりを持ってもらっている。		
32		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 可能な限り情報提供している。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
33	14	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 声かけや会話の中で思いを確認するようにしている。 (外部評価) 日々のかかわりの中で一人ひとりの思いや意向の把握に努め、職員会議で情報交換し、職員全員で共有して把握に努めている。困難な場合は「暮らしの状況表」をもとに本人本位に検討している。		
34		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 生活暦を家族より聞き取り生活に活かしている。		
35		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価) 日々の記録により把握している。		

自己 評価	外部 評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価) 日ごろの係わり合いの中で感じたことを介護計画に反映する。 (外部評価) 本人、家族と話し合い、アセスメントを作成し、介護計画に反映している。アセスメントを含め、日々の関わりの中でのアイデアや気付きを職員全員で意見交換し、カンファレンスを行い、介護計画に反映している。		
37	16	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じた見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価) 変化が生じたときは、見直しをして家族に報告している。 (外部評価) 本人や家族の意向を確認し、毎月見直しを行っている。また、変化に応じその都度見直し、現状に即した計画を作成している。		
38		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価) 日々の様子は、記録や申し送りにて情報の共有をしている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価) 要望や状況に応じて支援している。 (外部評価) かかりつけ医以外の受診の同行、告別式の代理参列、法人内の他サービスの利用申込など、本人の要望に応じ柔軟な支援をしている。		

自己 評価	外部 評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 地域の行事や図書館などを利用している。		
41		○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 他のサービスの利用はしていない。		
42		○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 実施していない。		
43	18	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 協力医療機関があるが、要望に応じて適切な医療を受けている。 (外部評価) 本人及び家族の希望を大切に、5か所のかかりつけ医の受診に同行し、本人の状態を聞き関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。		
44		○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 専門医の受診体制がある		
45		○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 看護師が職員として配置されている。日常の健康管理ができています。		
46		○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 病院や家族との情報交換を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
47	19	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 重度化したときの対応は、家族と話をしている。現状では終末期の対応はしていない。 (外部評価) 重度化や終末期のあり方については入居時に説明をしている。また、職員はマニュアルをもとにケアのあり方を学び、全員で方針を共有している。		
48		○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 重度化した場合、主治医と連絡体制をとっている。		
49		○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 関係者との情報交換を密にしている。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
50	20	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	(自己評価) 一人ひとりにあった声かけや会話をしている。個人情報情報は慎重に取り扱っている。 (外部評価) 職員は採用時にプライバシー遵守の誓約書を提出している。県社協主催の研修会や職員会議においてその大切さを確認し、利用者に対してプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。		
51		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価) 利用者とは談笑しながら本人の思いが自然に出る話題づくりを心がけている。		

自己 評価	外部 評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又 は取組みを期 待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
52	21	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのでは なく、一人ひとりのペースを大切に、そ の日をどのように過ごしたいか、希望に そって支援している	(自己評価) 個人の個性に合わせて支援している。 (外部評価) 買い物や入浴など一人ひとりのペースを大切に し、体調に合わせ、希望に沿うよう支援してい る。		
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれがで きるように支援し、理容・美容は本人の望む 店に行けるように努めている	(自己評価) 季節に合った服や衣類を用意している。理美容は 家族や施設が対応している。		
54	22	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひ とりの好みや力を活かしながら、利用者 と職員と一緒に準備や食事、片付けをして いる	(自己評価) 季節の旬の食材での料理や利用者のできることを職員と ともにしている。 (外部評価) 季節の野菜を色どりよく取り合わせた献立となってい る。利用者は自由に食卓を囲み、職員も共に食事し、下 膳やテーブル拭きも共に行い、食事を楽しんでいる。		
55		○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たば こ等、好みのものを一人ひとりの状況に合 わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 手作りのおやつや飲み物は、好みを準備してい る。		
56		○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一 人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活 かして気持ちよく排泄できるよう支援して いる	(自己評価) 個々の排泄パターンを把握したり、定期的な誘導 を行い失禁の減少につなげている。		
57	23	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしま わずに、一人ひとりの希望やタイミングに 合わせて、入浴を楽しめるように支援して いる	(自己評価) 体調に配慮して、一人ひとりゆっくり楽しんでいる。 (外部評価) 毎日午後の入浴を基本に、一人ひとりの体調や希望に合 わせ、声かけをしながら入浴を勧め、また浴室の入口に 温泉マークをプリントした大きな暖簾を掛け、雰囲気 を工夫し、入浴を楽しめるよう支援している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
58		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価) 利用者個々の状況にあわせて支援している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価) できることを取り組みながら余暇を楽しんでいる。 <hr/> (外部評価) 年間行事を季節ごとに計画し、桜、バラや菖蒲の花見、ひな祭り、七夕、地域の運動会など、利用者の楽しみと気晴らしになるよう支援をしている。市外島しょ部のホームとの交流も楽しみとなっている。		
60		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 自己管理できる方は、買い物を楽しんでいる。		
61	25	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価) 散歩にでかけたり、ドライブの楽しみを支援している。 <hr/> (外部評価) 近所の神社へのお参りは毎日、買い物は2日に1度、その他美容室に出かけるなど、希望に添って日常的な外出の支援をしている。		
62		○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価) 船に乗る機会をもうけたり、高速道路を使っての遠くへの外出がある。		
63		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 年賀状や暑中見舞を利用者が直接家族に書いて出している。		


自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
64		○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価) フロアのコーナーを利用してゆっくり話ができるよう体制を整えている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
65		○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 研修や勉強会に参加し拘束のないケアを実践している。		
66	26	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 玄関に関しては交通量の多い道路に面しているため制限をしている。 (外部評価) 各居室の掃き出し口が交通量の多い道路側にあり、外扉はあるが容易に道路に出られるので、利用者の安全のためロックをしている。	※	建物の構造上、安全確保が難しい状況ではあるが、鍵をかけることが当たり前ではないこと、鍵をかけることの弊害を認識し、課題として取り組む姿勢が望まれる。
67		○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 日中はフロアにて声かけのできる状態にある。		
68		○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 安全確認をしている。		
69		○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) 一人ひとりの状態の把握に努め、再発防止ケアの改善に取り組んでいる。		
70		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 消防署の指導の下、講習を受けている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
71	27	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 避難訓練や避難方法を消防署立会いのもと、実施している。地域の協力を得られるよう働きかけを行なっている。 (外部評価) 毎年消防署の指導のもと避難訓練を行い、消火器の使用も模擬防火訓練で実施している。防災ネットワークとして町内の連絡網があり、災害時に地域の人々の協力が得られる体制ができています。しかし、近隣の住民に協力を呼びかけての避難訓練は実施していない。	※	地域の人々に呼びかけ、夜間の想定も含めて実際に避難訓練を実施し、災害に備えることが求められる。
72		○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	(自己評価) ケアプランの説明時にリスクについて説明対応を話し合っている。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異常の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 状態変化や異常が見られるときは、バイタルを測定し、主治医と相談している。		
74		○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 薬の管理は看護師がおこない、個別の服薬表にて職員が理解している。		
75		○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 排泄パターンを把握し、自立に向けた支援をしている。		
76		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 毎食後、一人一人の口腔ケアを実施している。		
77	28	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 栄養士の下、食事および水分量を把握し個別対応している。 (外部評価) 「暮らしの状況表」で一人ひとりの食事の状態や水分摂取量をチェックし、栄養士の管理のもと、栄養バランスとともにカロリーと水分確保の支援をしている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
78		○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取組みがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	(自己評価) マニュアルを確認し手洗い、うがい、消毒などを徹底している。		
79		○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	(自己評価) 食材の管理や調理用具の消毒をしている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
80		○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	(自己評価) 玄関にはスロープがあり、車椅子でも出入りしやすい状況にある。		
81	29	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 開放的で明るく創作品などが飾られて、落ち着いた雰囲気である。 (外部評価) 1, 2階を通してガラス張りの壁面から太陽光が入り、明るい。一体化した食堂と台所は調理の様子もうかがえる。広々とした居間にはソファやいすをいくつか置き、自由にくつろげる。浴室は広く伸び伸びと入浴できる。居間や廊下には利用者の作品を飾っているが、掲示板に職員用の標語も貼られている。	※	職員の勤務に対しての標語や目標の掲示場所については今一度検討し、工夫することを期待する。
82		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) フロア内には、椅子やソファを準備し自由な生活スタイルを整えている。		
83	30	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 家族の写真などをおいて、安心して過ごせる場所となっている。 (外部評価) 明るく清潔な居室で、家族の写真やカレンダー・仏壇等も置かれているが、ベッドと備品の小ダンスだけの居室も多く、使い慣れたものや好みのものが少なく感じる居室もある。	※	本人や家族と相談して、これまで使っていたものや好みの色、物などを活かして、本人が更に居心地よく過ごせるような工夫を望む。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
84		○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価) 換気は適宜行い、温度計にて室温調整している。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) 段差がなく、手すりを設置し安全を確保している。		
86		○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価) トイレや風呂場などには、立体的な表示をしている。		
87		○建物の外周リや空間の活用 建物の外周リやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価) 花や野菜を育てて、土の感触や収穫を楽しまれている。		

(注)

- 1  部分は自己評価と外部評価の共通評価項目。
- 2 全ての自己評価又は外部評価の項目に関し、具体的に記入すること。

V. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己 ①ほぼ全ての利用者の 評価) ②利用者の2/3くらいの 3利用者の1/3くらいの 4ほとんど掴んでいない	個々の生活暦を把握し、利用者の意思をつかむよう努力している。
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己 ①毎日ある 評価) ②数日に1回程度ある 3たまにある 4ほとんどない	食事やおやつの際は、一緒に楽しく過ごすようにしている。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己 ①ほぼ全ての利用者が 評価) ②利用者の2/3くらいが 3利用者の1/3くらいが 4ほとんどいない	一人ひとりの希望を取り入れ、個々のペースで暮らしている。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (自己 ①ほぼ全ての利用者が 評価) ②利用者の2/3くらいが 3利用者の1/3くらいが 4ほとんどいない	レクリエーションなどで他者との会話も増え積極的な姿もみられる。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己 ①ほぼ全ての利用者が 評価) ②利用者の2/3くらいが 3利用者の1/3くらいが 4ほとんどいない	希望があれば、できるだけ出かけられるように支援している。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (自己 ①ほぼ全ての利用者が 評価) ②利用者の2/3くらいが 3利用者の1/3くらいが 4ほとんどいない	看護師の配置により昼夜をとわず、電話連絡できる体制にある。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (自己 ①ほぼ全ての利用者が 評価) ②利用者の2/3くらいが 3利用者の1/3くらいが 4ほとんどいない	その時々状況を把握し最大限の支援をしている。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (自己 ①ほぼ全ての家族と 評価) ②家族の2/3くらいと 3家族の1/3くらいと 4ほとんどできていない	情報交換を行い信頼関係を築いている。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己 ①ほぼ毎日のように 評価) ②数日に1回程度 ③たまに 4ほとんどない	家族友人の面会が多いが、地域の人たちが訪ねてくることは少ない。

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	1 大いに増えている (自己 ②少しずつ増えている 評価) 3 あまり増えていない 4 全くいない	運営推進会議に参加し、自治会長を通じて地域の方々との関係作りに努力している。
98	職員は、活き活きと働いている	①ほぼ全ての職員が (自己 2 職員の2/3くらいが 評価) 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	いつも笑顔を絶やさず心にゆとりのある介護をしている。
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	1 ほぼ全ての利用者が (自己 ②利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	利用者の要望は、職員の下へ行き解決できるよう努力している。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	1 ほぼ全ての家族等が (自己 ②家族等の2/3くらいが 評価) 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	普段出かけることができない遠くへのドライブや外出に行ったり、日常生活を楽しむことに安心している。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

職員のレベルアップ (学習会、研修会の参加や相互研修で他施設の状況も確認しながら全体のレベルアップもしている。)